

令和3年度 秋の公開

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

指導者 学びの改革支援課 指導主事 小林 里美 先生
共同研究者 信州大学学術研究院教育学系 准教授 福田 典子 先生
日時 令和3年9月15日（水） 第5校時
授業学級 1年E組（41名）
授業会場 家庭科室
題材名 「計画的な金銭管理をしよう」
授業者 小林 輝紀

I 本校全体の研究

- 1 目指す生徒の姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 技・家1
- 2 全校研究テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 技・家1
- 3 研究の重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 技・家1
- 4 各教科等での育成を目指す資質・能力と各教科等の研究テーマ 技・家2

II 技術・家庭科の研究

- 1 学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 技・家3
- 2 題材の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 技・家3
- 3 題材の評価規準・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 技・家3
- 4 技術・家庭科として、全校研究テーマに迫るための仮説・・・・ 技・家3
- 5 題材展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 技・家3
- 6 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 技・家5

信州大学教育学部附属長野中学校 技術・家庭科

研究者 小林 輝紀 高野 健人

I 本校全体の研究

1 目指す生徒の姿

学びを拓いていく生徒

2 全校研究テーマ

学びの本質に迫る学習の在り方

3 研究の重点

- (1) 問題発見・解決の過程において、各教科等の「見方・考え方」を働かせることができるようにする。(重点1)
- (2) 学んでいることや学んだことの意味や価値を自覚することができるようにする。(重点2)

昨年度までの成果と課題から、本年度は、目指す生徒の姿を「学びを拓いていく生徒」とし、研究を進めていくこととした。「学びを拓いていく生徒」とは、①「各教科等の資質・能力を身に付けていく生徒」と②「①を踏まえて、身に付けた資質・能力を他に生かしたり、新たに見いだした課題を解決しようとしたりしながら学び続けていく生徒」と、捉えている。

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説の第1章総説には、「これからの時代を生きる生徒は、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要である」と示されている。

このような力を育成するためには、中学校において、生徒が各教科等の「見方・考え方」を働かせて、各教科等の資質・能力の育成につなげていくことが求められている。「見方・考え方」そのものは資質・能力に含まれるものではないが、各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり、各教科等の学習と社会とをつなぐものである。また、本校では、学習の基盤となる資質・能力のうち、「問題発見・解決能力」が、生徒の生涯にわたる学びの基盤となるものと考え、研究の重点1を「問題発見・解決の過程において、各教科等の『見方・考え方』を働かせることができるようにする」と据えた。

各教科等で身に付けた資質・能力を他に生かしたり、新たに見いだした課題を解決しようとしたりしながら学び続けていくことができるようにするためには、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解するなど、生徒が各教科等の学習の有用性を認識していく必要がある。そこで、研究の重点2を「学んでいることや学んだことの意味や価値を自覚することができるようにする」と据えた。「学んだこと」だけでなく、「学んでいること」を付け加えたのは、単元や題材の学習において、「何のためにこの学習を行っているのか、そこにはどのようなおもしろさや社会とのつながりがあるのか」などを、生徒が自覚することで、学ぶことに興味や関心をもち、粘り強く取り組む中で、自己の学習を振り返って、次につなげるなど、生涯にわたって学び続けることにつながるのではないかと考えたためである。

各教科等の「見方・考え方」を働かせて、資質・能力を身に付けていくことが「各教科等の本質」であるとするならば、各教科等の枠を超えて、自ら「見方・考え方」を働かせて、物事を問い続けたり、追究したりして学び続けていくことを「学びの本質」と捉える。そこで、「学びを拓いていく生徒」を育成するために、全校研究テーマを「学びの本質に迫る学習の在り方」と据え、研究を進めていくこととした。

4 各教科等での育成を目指す資質・能力と各教科等の研究テーマ

各教科等の資質・能力を育成するため、本年度の各教科等の研究テーマを下記のように決め出した。

各教科等	各教科等で育成を目指す資質・能力	各教科等の研究テーマ
国語	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力	文章を読んで理解したことなどに基づいて、自分の考えを形成する力を高める学習の在り方
社会	広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力を高める学習の在り方
数学	数学的に考える資質・能力	数学を活用して事象を論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察したりする力を高める学習の在り方
理科	自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力	観察、実験の結果を分析して、解釈する力を高める学習の在り方
音楽	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力	音楽表現を創意工夫する力を高める学習の在り方
美術	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力	主題を基に、発想し構想する力を高める学習の在り方
保健体育	心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力	運動が有する特性や魅力に応じて、その楽しさや喜びを味わおうとする力を高める学習の在り方
技術・家庭	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力	(技術分野) 社会や生活課題について多面的に検討し、最適な解決策を考える力を高める学習の在り方 (家庭分野) 生活事象を多角的に捉え、よりよい生活を営むために工夫する力を高める学習の在り方
英語	簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力	事実や考え、気持ちなどを伝え合う力を高める学習の在り方
道徳	よりよく生きるための基盤となる道徳性	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、道徳的心情を育むための学習の在り方
総合	よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力	自ら課題を設定する力を高める学習の在り方
特別活動	様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して身に付ける資質・能力	学校生活をよりよくするための課題を見いだし、解決する力を高める学習の在り方

II 技術・家庭科の研究

1 学習 多様な支払い方法や購入方法に応じた計画的な金銭管理を考え、工夫する学習

2 題材の目標 ※【 】内は、学習指導要領との関連を指している

(1) 知識及び技能【C (1) ア (7)、(イ)】

購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解し、収支のバランスを図るためには、生活に必要な物資・サービスについて金銭の流れを把握する必要があることを理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。

(2) 思考力、判断力、表現力等【C (1) イ】

物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決することができる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったり改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

3 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知	購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	思 物資・サービスの選択・購入についての課題を解決するために、物資・サービスの選択、購入方法、支払方法について考え、工夫している。	態 よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
技	物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできている。		

4 技術・家庭科として、全校研究テーマに迫るための仮説

(1) 重点①に関わる仮説

模擬家族の支出計画から金銭管理の課題を見だし、物資・サービスの選択の優先順位を考え、購入方法や支払い方法の特徴を基に、改善策を検討する展開を位置付ける。このようにすることで、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせ、多様な支払い方法や購入方法に応じた計画的な金銭管理を考え、工夫することができる。

(2) 重点②に関わる仮説

題材の終末、これからの家庭での金銭管理について大切にしたいことを考える場を位置付ける。このようにすることで、計画的な金銭の管理の必要性について、学んだことの意味や価値を自覚することができる。

5 題材展開

全6時間扱い 本時は第4時

段階	◆学習 教師の指導・支援	予想される生徒の反応	評価の 観点	時間
導入	◆自分や家族の生活とお金の関わりを振り返り、本題材の見通しをもつ。 ・自分の生活の中でどのようなことに金銭を使っているかを問う。 ・アのような反応から、模擬家族の支出計画の課題点を確認した後、 題材の学習問題「朝陽野家の10月の支出計画を改善するにはどのようにしたらよいのだろうか。」 を設定する。	ア 私たちは消費者として多くの物資・サービスを購入して生活している。 イ 朝陽野家の支出計画は支出が収入を大きく超えてしまっている。これでは生活ができなくなってしまう。 ウ 衣食住や光熱、交通などのライフラインに係る必需的なものは支出を減らすことができない。選択的なものの優先順位を考え、取捨選択をしていく必要があると思う。 エ 必需的なものでも収入を超えてしまう。購入方法や支払い方法を工夫することで、バランスが図れるかもしれない。	態 (観察・学習カード)	1
	◆優先順位を基に購入方法、支払い方法を工夫して、朝陽野家の適切な支出計画を作成する。 ・エのような反応から、 学習課題「購入方法と支払い方法の特徴から、それぞれのメリット・デメリットをまとめよう。」 を据える。	オ 店舗販売は店に行かないと購入できないが、送料がかからないし、アフターサービスもよい。無店舗販売は商品の種類が豊富で、多くの商品の中から選ぶことができる。 カ クレジットカードは手持ちの現金がなくても決められた限度額までなら買い物ができる。手数料が掛かるが分割払いもできる。	知 (観察・学習カード)	2

		キ 購入方法や支払い方法を工夫することで、収支のバランスが取れた支出計画を提案することができそうだ。			
	・キのような反応から、学習課題「優先順位が高いものの、購入方法や支払い方法を工夫して支出計画を改善しよう。」を据える。	ク テレビや自転車はないと困るので優先順位は高い。一方でTシャツ今は必ずしも買わなくてもよいと思う。 ケ 今月は支出が多いので、テレビをクレジットカードで買って、翌月の支払いに回せばよいと思う。手数料がもっていないので一括払いがよい。 コ 朝陽野家の支出計画について一人で考えてみたけれど、本当にこれでよいのだろうか。家庭でも家族で相談して決めるものだと思う。他の人の意見を聞きながら友と相談してより収支のバランスの取れた支出計画を提案したい。			
展開	・ケやコのような反応から、優先順位、購入方法、支払方法に加えて11月以降の支出についても考える必要があることを確認し、学習課題「4つのポイントに着目して朝陽野家の支出計画を決めよう。」を据え、グループ毎に話し合う場を設ける。	サ テレビや電子辞書をクレジットカードで買うと、翌月の支払いでまた同じ状況になってしまう。手数料が掛かるが3回の分割払いにした方がよい。そうすると、10月の支払いは0円になり、11月から毎月51,000円支払うことになる。 シ Aさんは電子辞書を購入しようと言っているが、chromebookがあるから学校では必要ないと思う。 ス マスクは送料のことを考えて3箱購入しようとしているが、近所の薬局で買えば送料もかからないし、1箱だけ購入することもできる。	30分		3 4 (本時は第4時)
	・班で決め出した支出計画を全体共有する場を設ける。	セ Bさんの班は、自転車は店舗に行って実際に見てみたり、店員さんに説明を聞いたりすることが大切だと言っていた。私は通学のためにすぐ必要だからという理由で店舗での購入を考えていたが、そういったことも大切だということが分かった。 ソ 購入方法と支払い方法を検討することで、収支のバランスが取れた支出計画に改善することができた。	15分		
	・決め出した支出計画を基に、朝陽野家へのアドバイスを考えるように促す。	タ テレビをクレジットカードで購入すると、11月以降はその支払いがあるので、今後もほしい物がある場合は、優先順位をつけたり、支払い方法を考えたりして、計画的な金銭管理をするようにしてほしい。クレジットカードの分割払いを上手に使って支出を抑え、家族がよりよい生活を送ることにつなげてほしい。	5分		
	・大悟さんの自転車を購入する際に大切にしたい視点を尋ねる。 ・チのような反応から学習課題「『価格』『機能』『大きさ』『デザイン』に着目して、大悟さんが実際に自転車を購入できる提案を考えよう。」を据える。	チ 通学用の自転車を購入する際に大切にしたい視点には「価格」「機能」「大きさ」「デザイン」がある。 ツ 選択をするときに大切にしたい視点を基に大悟さんに提案する自転車の候補を決めることができたが、この自転車を店舗販売で購入しようと近所の自転車屋を調べたが、どうやら売っていない。 テ 実際に購入することを考えてみると、計画と変更せざるを得ないことになる場合があることが分かった。いつまでに必要なのかなど、何を大切にするかを考えて決めていくことが重要だと感じた。		技 思 (観察・学習カード)	5
終末	◆題材のまとめを行い、学んだことを明確にする。 ・これからの家庭での金銭管理について大切にしたいことを考える場を設ける。	ト 限られた収入の中で、収支のバランスを図るためには、生活に必要な物資・サービスについて金銭の流れを把握し、多様な購入方法や支払い方法に応じた計画的な金銭の管理をする必要があることが分かった。いずれは自分がこれらを行うようになる。そのためにも、今後は何かを購入する時は、家族とよく相談するようにしたい。		態 ③ (ワークシート)	6

6 資料

朝陽野家の家族の情報

家族構成	父・母・大悟（附属中1年 11月生まれ）		
家族が 使えるお金	来月の生活費	320,000円	所得税、住民税などの必ず支払うものや、貯金用の3万円を引いた収入の合計。
	銀行口座の残高	50,000円	繰入金（今月使わなかった生活費の残り）
	貯金用の口座	約700万円	将来家を建てるための資金や大悟の学費として20年間、毎月3万円ずつ貯金を続けている。一度も使ったことがない。
	プリペイドカード	500円	
	クレジットカード		・購入した翌月25日に銀行口座から引き落とし ・一括払い、3回の分割払い選択可（分割払いは100円につき2円の手数料がかかる）

朝陽野家の10月の支出計画

	金額	内訳		備考	購入方法	支払い方法
食費	¥ 70,000	食料全般	¥ 55,000	米、野菜、肉類、魚介類、加工食品、飲料、調味料など（給食も含む）	スーパーなど	現金・自動引き落とし（給食）
		外食	¥ 15,000	休みの日に家族で4回外食をしたい。	飲食店	未定
住居	¥ 70,000	家賃		アパート代		自動引き落とし
光熱・水道	¥ 17,000			電気・ガス・水道代		自動引き落とし
家具・家事用品	¥ 8,000			洗剤類、トイレトーパー、ティッシュ、掃除用品など	ホームセンターなど	現金
被服及び履物	¥ 14,500	被服全般	¥ 10,000	被服、下着類、クリーニング代など		
		Tシャツ	¥ 4,500	大悟さんの部活用のTシャツ。新しいものがほしい。	未定	未定
保健医療	¥ 9,000			生命保険、医療費		自動引き落とし
交通・通信費	¥ 65,000		¥ 40,000	ガソリン、固定電話、スマートフォン使用料など		自動引き落とし
		自転車	¥ 25,000	大悟の通学用。壊れてしまい通学ができない。車種はこれのみ。ネット購入の場合送料無料	未定	未定
教育	¥ 42,400	教育に係る諸費用	¥ 17,000	教材費、学校積立金など毎月必ずかかる費用		
		コンパス	¥ 400	大悟が10月のテストで使いたい。	未定	未定
		電子辞書	¥ 25,000	大悟が学校の学習で使いたい。	未定	未定
教養娯楽	¥175,000	テレビ	¥150,000	リビングにあるテレビが完全に壊れた。家族全員が見る必需品。必要な大きさのテレビでこれ以上安いものはない。	未定	未定
			¥ 25,000	習い事、インターネット接続など		自動引き落とし
その他の消費支出	¥ 39,200		¥ 30,000	父・母・大悟のこづかい、シャンプー、化粧品、美容院代など		現金
		マスク3箱	¥ 4,200	いつも使っている100枚入り1400円の商品がなくなりそうになっている。3000円以上で700円の送料が無料になっているので3箱購入する。	ネットで購入	クレジットカード
		水筒	¥ 5,000	大悟が学校で使用する水筒が壊れたので新しいものが欲しい。保温・保冷機能付きがよい。	ネットで購入	クレジットカード
交際費	¥ 7,000	お祝い	¥ 7,000	親戚への出産お祝い	専門店	現金
10月の支出予定合計	¥517,100					